



AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

発行・横浜スペイン協会事務局

2008年度定時総会開催

2008年度の定時総会は、5月11日（日）14時30分より、「県民サポートセンター」711号室で開催され、会員22名が出席しました。

総会は定刻に開会し、下山会長の挨拶に続き、協会規約に則り、あらためて会長が議長に着き、「2008年度定時総会議案書」に基づき審議に入りました。

第1号議案「2007年度事業報告について」は飯塚副会長より、

第2号議案「2007年度一般会計決算報告について」は齋藤副会長より報告がありました。引き続き井口監事より監査報告の結果「適正に執行されたものと認めます」との報告がありました。



▲懇親会後のひととき



▲総会に先立ち挨拶する下山会長

第3号議案「2008年度事業計画（案）について」は飯塚副会長、第4号議案「2008年度一般会計収支予算（案）について」は齋藤副会長より提案がありました。各議案につき衆議を諮ったところ、出席者全員の賛同を得て可決されました。

第5号議案「役員改選に伴う新役員の紹介」に関しては、役員選考委員会で推挙され、理事会で承認された新しい役員の紹介がありました。下山会長から、今回辞任された、寺原瑛子理事と千葉博子理事に対し、在任中の献身的な活動に対して感謝の言葉が贈られました。定時総会は15時30分に終了し、同じ会場にて簡単に懇親会を行い、16時に閉会しました。（山崎宗城）

創立20周年記念事業アイデア募集

2010年7月7日に、横浜スペイン協会は創立20周年を迎えます。

2010年4月1日から12月31日の間、様々な記念イベントを開催する予定です。今年度はその準備年度に当たり、理事会の中にも創立20周年準備委員を設け、いくつかの企画の検討をはじめました。会員の皆様からも自由に様々な企画のアイデアを募ります。

この機会に是非という催し物、あるいは記念事業のご提案を、概略で結構ですのでお寄せ下さい。例えば、創立15周年の際に開催したような写真・絵画・工芸品の展覧会、スペインへの親善旅行、あるいは何処かにベースとなる所を決めて少し長期でのスペイン滞在、逆にスペインの学生などにホームステイの場所を提供するなどの案も出ています。

★創立20周年記念事業企画アイデア募集締切 2008年10月31日（金） 協会事務局まで

スペイン映画の夕べ

—スペイン映画の第一人者アルフレード・カステジョン監督を迎えて—

東京で開催された第8回スペイン映画祭（財団法人日本スペイン協会主催）終了後、アルフレード・カステジョン（Alfredo Castellón）監督と、文芸評論家のホアキン・ヴェルドゥ（Joaquin Verdú）氏が、「プラテロと私」（アルフレード・カステジョン監督作品）と「ベッドサイド物語」（エミリオ・マルティネス・ラサロ監督作品）のDVDを携えて、当協会のために来浜されました。

急遽、「県民サポートセンター」711号室を借りて、6月1日（日）17時より「スペイン映画の夕べ」を開催しました。会員および一般から26名の参加がありました。

映画に先立ち、監督と文芸評論家から制作にまつわるお話しをお聴きしたのに続き、「プラテロと私」を鑑賞しました。

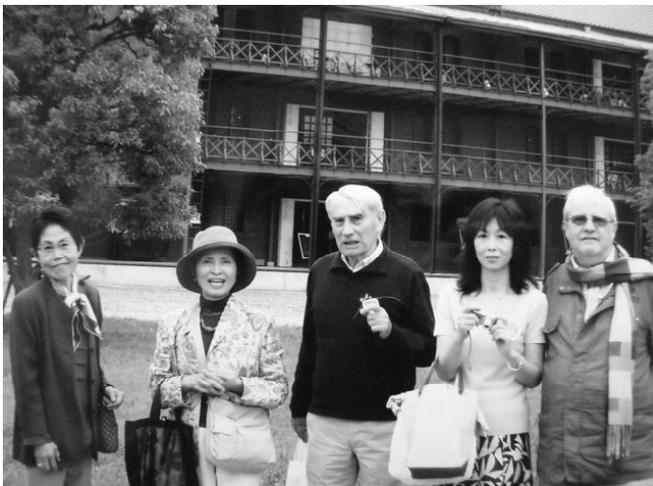
映画は、ノーベル賞作家フアン・ラモン・ヒメネス（1881-1958）の代表的な作品を映画化したもので、あらすじは、主人公フアン（シモン・マルティン）が、世界を隈なく見て回り、陰気な大都市に否応なく暮らした後、故郷モゲールに帰り、幸せな思いに浸る。村の銀色の美しい雄ロバの子、プラテロと狂気の噂のある哀れな少女アゲディージャとの日々を描いた作品です。

当日、監督の話しを通訳された山田るり子会員のメモの一部を紹介します。

『言論統制が行われたフランコ政権下では、映画芸術の世界にも厳しい検閲が待ち受けていました。そのため、作品を国内で上映するには、表現をソフトなものにする必要がありました。検閲を通過させるために超特急で映画を撮り、後で手直することも多かったといいます。或いは自国での上映を諦め、海外のパトロンを探し、他国で作品を公開することも珍しくなかったようです。

現在のようにカメラや映像技術が進んでいなかった当時、カメラと俳優の物理的な距離が、そのまま映像上に表れました。また、費用などの問題により1カットが10分を越えるようなことも珍しくなく、俳優たちも非常に苦労しました。

画面上に映し出される実際の映像だけでなく、作品には様々な表情があります。原作者が抱いた世界、監督が描くイメージ、鑑賞者の感情——そのため、皆が同じ感想を持つものでなく、鑑賞者も一人一人が自らの経験などを重ね合わせ、異なる解釈・イメージを造り上げればよい、と監督は言葉を締めくくりました』



▲映画会翌日、赤レンガ倉庫にて



▲当時のスペイン映画について語る監督

宿泊されたお二人を、翌日、市内観光バスで横浜をご案内しました。みなとみらい21地区—横浜ベイブリッジ—港の見える丘公園—赤レンガ倉庫とめぐり中華街で昼食。そして大栈橋国際客船ターミナル（スペイン人建築家アレハンドロ・サエラ・ポロ氏の設計）を見学し、東京赤坂のホテルに戻られました。後日、無事帰国された監督より、日本スペイン協会を通じて、横浜で楽しい時間を過ごすことが出来たことへの御礼のメッセージをいただきました。（山崎宗城）

ホームページリニューアルのお知らせ

前年度までのWeb担当の村田さんが退任されましたので、新たに中澤が担当となりました。

学生時代にスペイン語を専攻し、サラマンカに2年間滞在しましたが、その後20年はスペインに係わりの無い生活をしておりました。このたび協会ホームページの業務を担当させて頂き、大好きなスペインを満喫したいと思っております。

会員の皆様をはじめ、横浜・スペインに関心のある方々が見やすく、新しい情報をタイムリーに伝えられるホームページを目指します。皆様にもホームページに掲載する写真や旅行記などの提供をお願いしたいと思います。とっておきの一枚があればメールに添付して中澤宛にご送信いただければ幸いです。

8月中に掲載する写真や説明文をまとめ、9月中頃には制作完成・校正して、9月末公開の計画です。

どうぞご期待下さい。(中澤康晃)

***** スペイン・サロンへのお誘い *****

●2008年9月のスペイン・サロン

9月のスペイン・サロンは、AIYES通信50号に「カミーノ・デ・サンティアゴ」を投稿いただいた間屋正勝会員を講師に迎えて、その経験談を語っていただきます。

日 時：2008年9月20日（土）13：30～15：30

場 所：市民活動支援センター4階（桜木町）

講 師：間屋正勝会員

テーマ：「カミーノ・デ・サンティアゴ巡礼の経験談」

会 費：会員 500円 一般 700円

●2008年11月のスペイン・サロン

11月のスペイン・サロンは、スペイン・マドリッド王立音楽院を1984年、首席で卒業し、同時に演奏家資格を取得された永島志基氏をゲストにお迎えして、「一流のギタリストが奏でるスペイン名曲の数々とトーク」を企画しました。お友達もお誘いしてご参加ください。

日 時：2008年11月1日（土）13：30～15：30

場 所：「波止場会館」1階 多目的ホール

中区海岸通1丁目1番 TEL045-201-3842

（大さん橋のたもと「開港広場前」信号そばのレストラン「スカンディア」の並びの裏）

講 師：永島志基氏

テーマ：「一流のギタリストが奏でるスペイン名曲の数々とトーク」

会 費：会員 1,000円 一般 1,200円

●今後の開催予定（詳細が決まりましたら、「AIYES通信」、ホームページなどでお知らせします）

- ・2008年10月 5日（日）13：30～15：30（予定） 県民サポートセンター7階/711号室（内容未定）
- ・2008年12月13日（土）13：30～16：30（予定） 地区センター/調理室 「スペイン料理を作って食べる会」
- ・2009年 2月14日（土）13：30～16：00（予定） 波止場会館/イベントホール「新年親睦パーティー」
マグノリア教室との共催。なお上記日程が確保できない場合は、3月14日（土）同時間開催を予定しています。

歴史と文化を知るスペイン・サロン

●7月のスペイン・サロン

「映画の話を中心としたフリートーキング」

講 師：松本益代会員

日 時：2008年7月19日（土）13：30～16：00

会 場：県民サポートセンター7階/711号室

スペイン映画に詳しい松本益代さんにお話をお願いして、今年度第1回目のスペイン・サロンを開催しまし

た。松本さんは、4年前のスペイン・サロンでも映画について講演をされました。今回は、それから現在までに鑑賞された映画を中心に、約30本の映画についてのお話でした。

スペイン映画には、まず鬼才ペドロ・アルモドバル監督の、「トーク・トゥ・ハー」、「マラ・エドゥカシオン」、「ボルベール」等があります。これらは、陽気で現代的な雰囲気作品で、中でも「ボルベール」は人気女優ペネロペ・クルス・カルメン・マウラ主演ということもあり、日本でも相当な人気でした。主題歌「ボルベール」は、古いタンゴの名曲をフラメンコ調にアレンジしたものだそうです。一方、「蝶の舌」、「キヤロルの初恋」、「パンズ・ラビリンス」等、市民戦争を背景にした作品が今でも多数作られています。

また、特徴のひとつとして、これらの作品には子供がよく登場します。「蝶の舌」では、子供たちに好かれていた老先生が、最後にファランヘ党らしき一団に逮捕され、連行されていく場面があります。そこでは、先生を慕っていた筈の子供たちが、大人たちに混じって老先生を罵倒していました。

松本さんのお話を聞きながら、市民戦争時代の映画に子供たちがしばしば登場するのは何故だろうと疑問に思いました。ひょっとすると市民戦争とは、現在まだ生きている70歳過ぎの世代にとって、自分達がかつてのころに経験したあの戦争は一体何だったのか、もう一度問い直さずにはいられない重大な経験だったからではないでしょうか。

松本さんによれば、「ウィスキー（ウルグアイ）」、「ボンボン（アルゼンチン）」、「エメラルド・カウボーイ（コロンビア）」など中南米の映画も加えると、スペイン語圏の映画は、ドイツ、イギリス、イタリアなどのものに比べ、本数がずっと多いのではないかと、ということです。

さらに、参加された方々からも面白いお話が飛び出しました。

アカデミー賞助演男優賞の受賞者、ハビエル・バルデムが主演した「海を飛ぶ夢」に登場した魅力溢れる人物達に惹かれ、映画の舞台であるガリシア地方にあこがれて、ラ・コルーニャに1ヵ月も滞在し、サンティアゴ巡礼の道をムルシアまで独り旅してきたという女性とその苦労話をされました。また、小学生のころ、映画「黄金バット」に心を奪われて以来、50年以上の間いろんなジャンルの映画をひたすら見続けてきたという一般参加の男性がご自分の映画鑑賞史を語られました。

最後に松本さんから、ホットニュースの発表がありました。コロンビアが誇るノーベル賞作家、ガルシア・マルケスの名作「コレラの時代の愛」が、同じ題名で映画化されます。主演は、「海を飛ぶ夢」のハビエル・バルデムです。8月9日、ロードショーが「日比谷シャンテシネ」で封切られ、以後、各地で次々と上映されることでしょう。

今回のスペイン・サロンは、7人という小人数の集まりでしたが、全員が自由に、楽しいおしゃべりをして過ごしました。（野波克子）

●スペイン・サロン2007年度実績

2007年度に開催しましたスペイン・サロンは以下のとおりです。

サロン担当では、会員の皆様からのリクエストを募集しております。聞きたいテーマ、講師やサロンに対するご意見、ご感想をお待ちしております。

2007年4月21日（土）12：15～14：45 県民サポートセンター／403号室

「アルプハラ地方～アル・アンダルス最後の落ち人の郷」山田るり子会員

2007年6月16日（土）13：30～15：30 県民サポートセンター／1501号室

「スペイン文学…スペインの中世文学の芳醇な香り…」岩根圀和・神奈川大学教授

2007年7月21日（土）13：30～15：30 県民サポートセンター／1501号室

フリートーカーキングくあれこれ情報・スペイン談義

2007年10月20日（土）13：30～15：30 県民サポートセンター／405号室

「スペインのロマネスク建築について」

小倉康之・横浜美術短期大学・早稲田大学エクステンションセンター講師

2007年11月17日（土）13：30～16：30 神奈川地区センター／調理室

「パエージャを作って食べる会」鎌田暁子会員、山田るり子会員

2008年2月16日（土）13：30～15：30 県民サポートセンター／711号室

フリートーカーキングくあれこれ情報・スペイン談義

2008年3月8日（土）13：30～16：00 波止場会館／イベントホール

「親睦パーティー」（マグノリア教室の歌の発表）

スペイン語教室連絡会開催

去る7月13日、2008年度のスペイン語教室をスムーズに運営していくために、横浜プラザホテル14階「レストラン・ル・ファール」にて、スペイン語教室の各先生方と協会の教室担当委員との顔合わせ会を行いました。昨年度後期からのクラス編成替えに伴って先生方の陣容も変わりました。先生6名全員、協会側は会長とクラス担当委員3名との計10名、食事をしながらクラス運営や講義について話し合いました。会長からは先生方への労いの言葉と、特に20周年を間近に控えてのスペイン語教室への期待の話がありました。

和やかな雰囲気の中で、先生方とクラス委員の間で意見交換をすることが出来、今後に実りあるミーティングでした。今後も情報交換の場として定期的に行っていきたいと思います。(久保田誠志)



▲会長を囲んで講師が勢ぞろい

会員投稿

スペインの桜広場

宮崎 紗伎

4月15日(水)付の毎日新聞(夕刊)に、ロンダ市が造園、命名した<日本桜広場>に設置された大理石のベンチに関する次のような記事が掲載されました。

『スペイン南部、ロンダという山あいの都市に「日本桜広場」と名づけられた場所がある。日本から移植した11本の桜の木が並ぶ。中央にベンチを模したモニュメント。スペイン語で一文が刻まれている。「三崎由美子を記念して」

93年夏、由美子さんは逝った。29歳。テニス旅行の帰り、東京都内で知人の車に乗中の事故だった。

両親の手元に数十冊のアルバムが残った。一人娘。幼いころから旅行が好きだった。「成人式の着物はいらない。卒業旅行の費用を出して」。友人と世界中を旅した。何度もアルバムを開くうちに、スペインを3度も訪れていたと知った。

娘がいた証しにと父母は桜の植樹を思い立つ。横浜スペイン協会を頼り、95年、現地に飛んだ。マドリード、バルセロナ……。かつて娘が訪れた地をたどった。

グラナダでのフラメンコ見物。白壁を背に踊る人々の中に見覚えのある少女がいた。アルバムの写真が脳裏をよぎる。褐色の肌。「5歳のこの子の踊り、なかなか色っぽい」と書き添えた娘の字。「あの子だ」。少し大人びたが間違いなかった。

04年秋に「日本桜広場」は完成。モニュメントは夫婦が寄贈した。「娘につながる何かをしたい」。そればかり考えてきた。

父は78歳、母は76歳になった。3月末、2人は花見に出かけた。数年前までは考えもしなかった。「あの子がいてくれたら」と今も思う。「ただ、桜を見る心の余裕はできたのかな」

行き先は父が幼少期を過ごした都内の土手にした。娘と別れて今年で15年。満開の桜が父母を迎えた。(荻田伸宏)』

その広場にはロンダ市と当協会の友好の証として、ロンダ市長と当協会会長により、桜とロンダ市の樹(ピンサポ)を植樹したことを付け加えさせて頂きます。会員の皆様が桜の季節にスペインを訪ねる機会がありましたら、是非ロンダの桜を観に行ってください。

記事を書かれた社会部の荻田伸宏記者より「この記事が、日本とスペインをつなぐきっかけのひとつになればという思いを込めて書いたつもりです」とコメントをいただきました。

毎日新聞 夕刊 二〇〇八年四月十五日

スペインの桜広場

「成人式の着物はいらない。卒業旅行の費用を出して」。友人と世界中を旅した。何度もアルバムを開くうちに、スペインを3度も訪れていたと知った。

娘がいた証しにと父母は桜の植樹を思い立つ。横浜スペイン協会を頼り、95年、現地に飛んだ。マドリード、バルセロナ……。かつて娘が訪れた地をたどった。

グラナダでのフラメンコ見物。白壁を背に踊る人々の中に見覚えのある少女がいた。アルバムの写真が脳裏をよぎる。褐色の肌。「5歳のこの子の踊り、なかなか色っぽい」と書き添えた娘の字。「あの子だ」。少し大人びたが間違いなかった。

04年秋に「日本桜広場」は完成。モニュメントは夫婦が寄贈した。「娘につながる何かをしたい」。そればかり考えてきた。

父は78歳、母は76歳になった。3月末、2人は花見に出かけた。数年前までは考えもしなかった。「あの子がいてくれたら」と今も思う。「ただ、桜を見る心の余裕はできたのかな」

行き先は父が幼少期を過ごした都内の土手にした。娘と別れて今年で15年。満開の桜が父母を迎えた。(荻田伸宏)』

▲2008年4月15日
毎日新聞夕刊

理事からのひとこと…

2008年度定時総会にて、2008-2009年度の協会理事が承認されました。各理事からコメントをいただきました。その会に対する熱い思いをご紹介します。(50音順、敬称略)

◇飯田 京子

スペイン語教室を担当します。より充実した教室の運営ができるよう頑張ります。何かご意見等ありましたらご連絡下さい。よろしくお願いします。

◇飯塚 劭

2010年は協会創立20周年になります。今期の理事は、この20周年の記念すべき年のイベントに関わるわけです。今からどのような創立記念イベントができるかそのことが気になります。当協会は、全国のスペイン友好関係団体の注目をあびています。みんなですばらしい創立20周年記念イベントを創り上げていきましょう。

◇石井 加奈弘

新年度に入り、スペイン・サロン担当理事も3人から2人となりましたが、何とか計画通りみなさんに喜んでもらえる内容を用意していきたいと思っています。

◇磯部 正勝

事務局・会計担当の磯部です。会員の皆様にはお世話になります。スペイン協会では、いろいろな企画をしております。会員の皆様と親睦をはかっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

◇上野 淑子

スペインへ歌の旅行にはまっていた頃、創立のお知らせを受け、入会しました。フラメンコも5年習い、スペイン音楽にはまっていました。スペインではロドリゴさんのお宅を表敬訪問し、日本の曲を御披露しました。握手をして頂いたあのお顔、手のぬくもり、感激でした。「恋のアランフェス」大好き、得意の曲のひとつです。20周年企画担当。スペインは、私にとってカルメン、フラメンコ、アランフェス。

◇久保田 誠志

スペイン語のクラス担当している三年目の理事です。私自身、スペイン語を楽しく学ぶことをモットーにしています。みんなで楽しく学べるクラスの雰囲気作りをお手伝いしたいと思います。

◇齋藤 由基彦

新しい執行体制が発足し、創立20周年へ向けた活動を始めております。創立の理念を踏まえ、かつ、健全財政を堅持しながら、記念事業はもとより、経常的諸事業の推進に努め、更なる発展を期待したいと存じます。会員の皆様には、今後とも格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。

◇下山 貞明

月日は早いもので、2010年は当協会の創立20周年を迎えます。そこで、20周年記念にふさわしい事業を実施したいので、会員皆様方の英知と積極的な御参加をお願いします。

◇野波 克子

新しくスペイン・サロンを担当することになりました。みんなで集って自由に語り合える楽しいサロンとして、会員相互の情報交換の場になればいいなと思っています。皆様のご参加とご協力をよろしくお願い申し上げます。

◇廣瀬 勝亮

家内の気まぐれから、全く関心の無かったスペインと関わりを持つようになってそろそろ40年。それなのにパブロ（パウ）・カサルスに憧れて始めたチェロもいろいろと習ったスペイン語同様少しも上達しない！老犬というのはなかなか芸を覚えられないものだ痛感しています。日本語を駆使して少しでも何かのお役に立てれば、と思っています。

◇宮崎 紗伎

副会長を務めさせていただいている宮崎紗伎です。会計とロンダ市との交流、交渉などを担当しております。再来年の協会の20周年には、桜広場造園にご配慮下さったロンダ市長とデザインその他細部にわたりご

尽力下さったカベッサさん (Sr.Cabeza Díaz) にお目にかかりにロンダへ行きたいと思っています。

◇山崎 宗城

事務局長として2期目を迎えます。協会の各活動を担当する理事、協会会員、関連団体、大使館、マスコミなどとのコミュニケーションが主な業務ですが、事務局兼任の理事の方の協力を得ながら努めてまいります。

◇山下 幸子

今期初めて理事をお引き受けしました山下でございます。私の人生の大半を商いという時間の世界で過ごしました、あまり近視的にならないで、もっとゆとりを持って人生を考えた方がいいと思い2003年5月横浜スペイン協会に入会しました。初めは自分に向かないのではないかと。それは充分私の外側の世界だった。まずはやってみることで、面白さがわかってくる。会員になりましたから5年が過ぎ、自分の選んだ志に間違いはありませんでした。今後ともよろしく願いいたします。

◇山田 るり子

子ども時代、「学級新聞」作りを最も苦手としていた私ですが、このたび広報担当理事となり、AIYES通信編集長に就任いたしました。協会会員となってから日も浅く、イベントごとに足手まといの感が否めませんが、持てる力を試してみたいと思います。また4月よりスペイン語教室「アマポーラ」の講師としても、楽しく活動させていただいています。ご指導、ご協力のほどお願いいたします。

◇渡邊 昭夫

これまで6年間、AIYES通信の編集委員のまとめ役として、委員のみなさんと一緒に楽しく会報の発行業務に携わってきました。みなさまのご支援、ご協力有難うございました。この度まとめ役を新進気鋭の山田るり子理事にお願いすることになりました。新時代の新風に期待します。会員のみなさまの一層のご支援をお願い申し上げます。

//////////////////// 新入会員紹介 //////////////////////////////////////

中澤 康晃 (Yasuaki Nakazawa)

横須賀市 2008年4月21日入会

学生時代サラマンカに1年間語学留学しました。その後日本でスペインとは関係ない仕事をしていますが、今でもスペインが大好きで、スペインとの関わりが欲しくて入会しました。

得意分野はスペイン料理（食べること）、BARのはしご、スペイン音楽です。スペインからのお客様の接待ならおまかせください。

大島 セツ子 (Setsuko Ohshima)

逗子市 2008年6月10日入会

10年前に日本スペイン協会で、一通りのスペイン語講座を受けました。しかしもう忘れかけています。多用で自由の少ない日常ですが、もう一度勉強をし直そうと、一番近い横浜スペイン協会に入れていただきました。よろしく申し上げます。

中島 紅 (Beni Nakajima)

横浜市金沢区 2008年6月15日入会

14~5年前、娘とスペイン旅行に行っていて以来、スペイン大好き人間になりました。

2008年4月から協会のスペイン語講座に参加させていただき、また一歩スペインに近づけたかなと、思っています。

今後、協会のイベントやスペイン・サロンの催しなどに参加させていただくのを楽しみにしております。

高野 悦子 (Etsuko Takano)

東京都江東区 2008年7月3日入会

スペイン語圏の文化に興味があり、スペイン語を勉強中です。

いつか、小説や映画を原語で理解できるようになりたいと思っています。協会ではお友達を作りながら、楽しんでいきたいと思っています。

***** 事務局からのお知らせ *****

◆事務局からのお願い

会費未納会員への通知作業が事務局としてかなりの負担になっています。住所変更、長期不在、退会希望等の方はすみやかに事務局へご連絡くださるようお願いいたします。また事務局からの緊急のお知らせやイベントのご案内をする際メールを差し上げています。しかし無事にお届けできないメールが多数あります。メールアドレスを変更された際は、必ず事務局まで、新しいメールアドレスをお知らせください。

◆創立20周年記念事業スタッフ募集

2010年の創立20周年記念イベント実施にあたって、ご協力いただけるスタッフを募集しています。ご希望の方は事務局までお申し出ください。

— 賛助会員各社の会員サービス内容 —

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より、表記のサービスが受けられます。

賛助会員	住 所	電話番号	会員サービス内容
レストランオーリーブ	横浜市西区高島2-5-10	045-441-4996	サングリア1杯無料
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア1杯無料
Bar Español	カサ・デ・フジモリ関内本店前	045-651-1074	サングリア1杯無料
カサ・デ・フジモリ目黒店	JR目黒駅(東京) 徒歩5分	03-5420-5328	サングリア1杯無料
(有)フレア	鎌倉市大船2-17-8	0467-42-8531	押し花体験費用の割引
日西商事(うさぎのいる島)	横浜市戸塚区品濃町252-3	070-5024-8196	ワイン1杯無料

<編集後記>

関係者の皆さんに多大なるご迷惑をかけながらも、なんとか初めてのAIYES通信の発行にこぎつけました。暑さにはめっぽう強い私も、今年の夏はこれで燃え尽きた感があります。在任中に少なくともあと5号はAIYES通信を発信することになります。再構築中のWebと連動させ、会員のみならず、一般の方にも広く協会に興味を持っていただけるようなコンテンツを探っていこうと思います。スペインに関する情報や思い出など、どんなに些細なことでも結構ですので、ぜひお寄せください。

(山田るり子)

新年度の役員が承認されAIYES通信の編集長も「新進気鋭」の山田会員が渡邊会員と交代することになりました。われわれ編集委員も渡邊前編集長のご尽力に感謝するとともに気持ちを新たに山田カラーを発揮できるようにサポートしたいと思います。20周年記念事業もいよいよ動き始めようとしています。AIYES通信も20周年に向かって内容を充実していく所存です。新編集長に応援をお願いするとともに、会報に対する投稿などなどお待ちしております。

(鈴木生雄)

編集委員 山田るり子 石井加奈弘 久保田誠志 佐藤陸雄 澤田真人 鈴木生雄 宮崎紗伎 山崎宗城 山下幸子 渡邊昭夫 飯塚 劭

* 投稿寄稿宛先 横浜スペイン協会会報係
横浜スペイン協会URL <http://www.yokohama-spain.org>

次号の原稿締切は
11月10日(月)です。
投稿は800字以内、写真1点をお付け下さい。